

おはようございます、校長の関田です。

今日から3ヵ月半ぶりに、フルタイムの学校生活が再開されました。

この間、不自由な生活を強いられる中、家庭での自学自習やVirtual MOIS、そして分散登校と、慣れない生活に、皆さんよく我慢して頑張ってきました。

私たちは同時に、新型コロナウイルス感染拡大に社会全体で立ち向かって来ました。

とりわけ病院や保健所などでウイルスと戦う医療従事者の方々に対しては、様々な方法で感謝と応援の気持ちを表そうとする取組がなされています。

例えば、家の窓を開けたり通りに出たりして、一斉に拍手を送る。

これを「Clap for carers」と言い、多くの国や地域で行われています。

新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療機関の医師や看護師、保健所で働く保健師や職員の皆さんなど医療従事者の方々は、多くの人の健康と命を守るため、医療と保健衛生の最前線で、もう何カ月も新型コロナウイルスに立ち向かってくださっています。

その方々も、スーパーマンではない、私たちと同じ普通の人間です。

どんなに医療用マスクを着け、防御服を身にまとっても、死の危険性がある未知のウイルスに感染した方々と接する時には、自分自身が感染するリスクを伴うため、相当な勇気と覚悟が必要でしょう。

しかもマスクや防御服が不足し、ワクチンも無く、治療薬も無い現状です。

保健所の方々も、感染を調べるPCR検査にまつわる業務を一手に引き受け、電話相談から、陽性反応者の行動調査や対面での指導など、コロナ以前の日常ではあり得ないほどの過酷な仕事量を担っています。

そうした方々のおかげもあって、感染拡大は徐々に収まりを見せました。

もちろん医療従事者以外の様々な分野や立場の方々の懸命の努力や、皆さんのご家族、皆さん自身の努力も、感染拡大の収まりに効果を上げ、私たちは今日から、みんなそろっての学校生活をリスタートできます。

今日は、そうした中でも特に医療従事者の方々への感謝と応援の気持ちを、拍手で表したいと思います。

皆さんがこの「Clap for carers」の精神に賛同して貰えるなら、今から30秒間、医療従事者の方々へ一緒に拍手を送りましょう。

拍手。

(拍手 30秒程度)

ありがとうございました。

学校再開後も私たち一人一人が新型コロナウイルスの感染を防ぐことは、再度の感染拡大を防ぎ、ひいては医療従事者の方々に助けることにも繋がります。

みんなで「学校の新しい生活様式」に気を付けて生活していきましょう。

「Clap for carers」は以上です。

Let's restart MOIS carefully.